



## アングリカン・インターフェイス委員会 (AIFC)

### アングリカン諮問評議会 18 への報告

#### はじめに

2022年 Lambeth Conference で主教らは、「誠実でキリストのような奉仕と、さまざまな信条や信仰を持つ人々の間でこの福音を謙虚に告げ知らせることで、主であり救世主であるイエス・キリストに証しをたてることに私たちは取り組む」ことを確言するとともに、「神の慈悲深い業に参加するという共通の証しのために私たちは他の宗教的伝統とどのように協力するか」について、新型コロナウイルスの世界的大流行や気候変動という喫緊の課題を例に挙げて確言した。先ごろ終わった、USPG（合同福音伝道教会）が主催し、ダルエスサラームのタンザニア管区で開催された国際人身取引防止協議では、人身売買を終わらせるための共同努力を呼びかけている。私たちがあらゆる宗派宗教を超え、手を携えて協力しない限り、恐ろしい悪に対する効果的な解決策はあり得ないからである。

#### アングリカン・インターフェイス委員会 (ANGLICAN INTER FAITH COMMISSION、AIFC)

ACC の新メンバーの情報として、AIFC は、2016 年にカンタベリーで開催された Primates' Meeting の命により作られ、そしてルサカで開催された ACC 2016 で承認され（決議 16.10）、その後 2017 年 10 月にカンタベリーで正式に発足した。発足会議は 2018 年 2 月にカイロで開催され、The Most Revd Dr ムーニア・アニスが議長を務めた。その後、委員会はチュニジアのチュニス（2018 年）とスリランカのコロombo（2020 年 2 月）で会合が開かれたが、新型コロナウイルスの世界的大流行以降の会合はオンラインで開催することを余儀なくされた。2021 年 11 月に開催された Primates' Meeting に、新議長のダナルド・ジュート主教から「報告書」が提出された。

この ACC では、Lambeth Conference で行われた呼びかけのいくつかのポイントに注目することが適切と思われる。次のものがある。

1. キリストの弟子である私たち全員が、謙虚さ、言葉と行い、そして謙虚な奉仕を通じて他の宗教伝統の隣人たちに対し証しを立てること
2. アングリカン・コミュニオンすべての主教が、他の宗教伝統の指導者との間で新たな友好関係を築き、私たちの取り組みを平和構築と共通の利益のためのモデルとすること
3. 他の信仰コミュニティの指導者に対し私たちとの協力を呼びかけ、気候変動その他私たちの共通環境の課題への取り組みや貧困の軽減、社会的弱者への配慮（人身売買の撲滅を含む）を実現するための効果的な協働の方法を共に探ること
4. AIFC に対し、新しい世代のアングリカン学者・実務家への資金支援という観点から、アングリカン・コミュニオン全体の中でインターフェイス（inter faith）関係を専門とする（聖職者と平信徒両方の）実務家による研究のための資金調達を呼びかけ、それによって他の宗教伝統についての神学的な学びの利益がより広いコミュニオンの使命の中で確言され、促されるようにすること

## AIFC の役割と活動

ジャスティン・ウェルビー大主教は AIFC の発足会議で、「世界は、憎みなき違いを実現するために宗教指導者の包容力を求めている。そして憎みなき違いを実現するための世界の包容力は日に日に減少しているように見える・・・」と言い、AIFC の役割を「私たちの未来に不可欠」なものとなることであると述べた。AIFC は次のことを促し、奨励する。

1. 管区と教区が、他の信仰コミュニティとの関係を評価し、これらの関係を築き、強化する方法を見定めること
2. 信仰を越えた新たな友情への呼びかけの結果を実際的な方法でフォローアップすること

3. アングリカン・コミュニオン全体の経験と専門知識を活用して、「他の信仰コミュニティと関わること（アングリカン・コミュニオン内で）」に関する短い本/小冊子を提供することなどにより、地域コミュニティにあるアングリカン・キリスト教徒が他の信仰をよりよく理解するのに役立つリソースを開発し、普及させること
4. コースや神学カレッジ、神学校のカリキュラムは、他の信仰伝統の研究と関わりを含めること
5. インタラクティブなフォーラムにより、コミュニオン全体のコミュニケーションを可能にし、既存の問題と新たな問題の幅広い認識を促すこと
6. あらゆる信仰を超えて、人身売買の被害者など、疎外された人々や声なき人々と連帯し、その声になること

**決議：**

**ACC18**

1. 教会に対し、異教派間（inter-faith）の取り組みのため、各地域、管区、主教区のネットワークを率いる人を任命し、また、異なる信仰コミュニティの人々が共通の利益のために協力することを可能にするプロジェクトを開発することを奨励する。
2. 教会に対し、（より）若いアングリカン・キリスト教徒らが、聖職者であるか平信徒であるかにかかわらず、神学的なリソースを活用して、異教徒間（inter-faith）の経験を共に得ることを可能とするための基金に拠出金を出すことを奨励する。

**報告者**

**The Rt Rev Datuk ダナルド・ジュート**

**アングリカン・インターフェイス委員会委員長**

2023年2月